

1、簿記の流れ

記 録	集 計	報 告
(ア)		
(イ)等 への転記	(ウ) ・精 算 表 ・勘定の締切	〔 損益計算書(,) 貸借対照表(, ,) 〕

2、精 算 表： 残高試算表から損益計算書と貸借対照表に分解するための表

*通常は、残高試算表の修正が必要になる（修正記入）。 p175

3、事例

商品を売上げ、代金 1,000 円は現金で受け取った。

(仕 訳)

現金 1,000 / 売上 1,000

(総勘定元帳)

現 金	
売上 1,000	
	現金 1,000
売 上	
	現金 1,000

(残高試算表)

残高試算表		
借方	a/c	貸方
1,000	現金	
	売上	1,000
1,000		1,000

(精 算 表)

a/c	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,000				1,000	
売上		1,000		1,000		

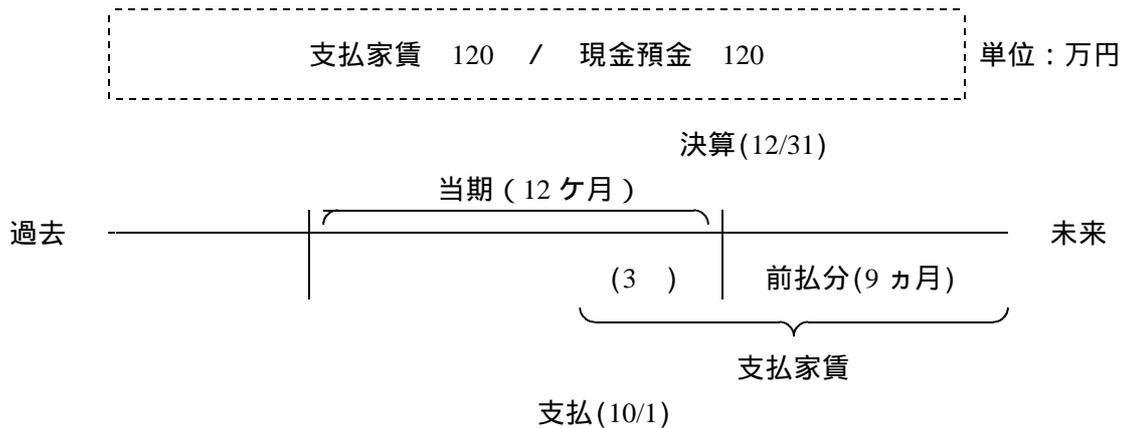
(勘定の締切)

〔 損益計算書
貸借対照表 〕

5、見越し・繰り延べ・・・復習

* 収益や費用には、契約により継続しているものがある(例：利息、家賃、支払保険料等)。ところが、その対価の受取りや支払いは、通常、期日が定められている。そこで、当期分の収益や費用は計上し、次期分の収益や費用があれば修正が必要となる。

例： 向う1年分の家賃120万円を10月1日に支払った場合（決算日12/31）



前払家賃 90 / 支払家賃 90 単位：万円

* 4種類の勘定科目（決算日時点で考えること）

- | | | |
|------------|-----------|----------------|
| (1) 収益の未収分 | <u>未収</u> | (未収利息、未収手数料 等) |
| (2) 費用の未払分 | <u>未払</u> | (未払家賃、未払利息 等) |
| (3) 収益の前受分 | <u>前受</u> | (前受地代、前受家賃 等) |
| (4) 費用の前払分 | <u>前払</u> | (前払保険料、前払家賃 等) |

* 練習問題 問題4 2 (p140 ~)

1	(借方)	(貸方)
2	(借方)	(貸方)
3	(借方)	(貸方)
4	(借方)	(貸方)

6、過去問題 : 別紙による

7、決算整理：総勘定元帳の修正（精算表の修正記入と内容は同じ）

8、損益計算書・貸借対照表

勘定式と報告式があるが、3級の試験問題では勘定式が多い。

評価勘定（
、
）の配置に注意すること。

語句の異なるものに注意。 勘定科目の（売上）（
）
（仕入）（
）
（繰越商品）（
）

9、勘定の締切

各勘定の残高を他の勘定に振り替えることを勘定の締切と言い、勘定処理を通じて期間損益を計算し、資産・負債・資本の期末残高をまとめることが正規の決算手続きとなる。

（1）勘定締切の基本的なルール

例1、借方合計額と貸方合計額とが一致している場合。

100	310	100	310
200	90	200	90
100		100	
		400	400

合計線（例外もあり）
締切線

例2、借方合計額と貸方合計額が一致していない場合（残高がある場合）

仕入		仕入		損益	
100	90	100	90	仕入	310
200		200	損益 310		110
100		100			150
		400	400	() ()	440
				() ()	()

（2）締切の手順

収益と費用に属する勘定は、締め切りながら各勘定の残高を損益勘定に集約する。

その後、損益勘定を締め切りながら資本金勘定に振替える。

資産・負債・資本に属する勘定は、英米式の場合は、振替えずに次期に繰り越す。

大陸式はすべて残高勘定に振替える。

勘定の締切は、総勘定元帳の区切りであり、次年度の帳簿の準備でもある。

10、過去問題：別紙による